

標準様式例6-2（工事）

（第1回） 契約変更の内容

変更契約年月日	令和7年7月10日
契約業者	フジタ道路(株) 首都圏支店
契約業者の住所	東京都中央区晴海一丁目8番10号
工事の名称	R6国道17号渋川西BP入沢地区舗装その2工事
工事場所	群馬県渋川市渋川地先
工事種別	アスファルト舗装工事
工事概要	本工事は、上記の工事場所において、アスファルト舗装工事を行うものである。
工期(自)	令和7年3月31日
工期(至)	令和8年3月31日
変更前の契約金額	268,213,000 円(税込み)
変更金額(増額)	1,001,000 円(税込み)
変更後の契約金額	269,214,000 円(税込み)
変更理由	本工事は、「令和7年4月より適用する「土木工事工事費積算要領及び基準の運用」等に係る取扱いについて」の運用に係る特例措置による請負代金の変更

（第2回）契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8 年 3 月 1 0 日
契 約 業 者 名	フジタ道路（株） 首都圏支店
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区晴海 1－8－1 0
工 事 の 名 称	R 6 国道 1 7 号渋川西 B P 入沢地区舗装その 2 工事
工 事 場 所	群馬県渋川市渋川地先
工 事 種 別	アスファルト舗装工事
工 事 概 要	道路土工 1 式 法面工 1 式 舗装工 1 式 排水構造物工 1 式 中央分離帯工 1 式 縁石工 1 式 防止柵工 1 式 区画線工 1 式 道路付属施設工 1 式 応急処理工 1 式 構造物撤去工 1 式 仮設工 1 式
工 期 （自）	令和 7 年 3 月 3 1 日
工 期 （至）	令和 8 年 3 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 6 9 , 2 1 4 , 0 0 0 円（税込み）
変 更 金 額	＋ 1 1 7 , 0 4 0 , 0 0 0 円（税込み）
変 更 後 の 契 約 金 額	3 8 6 , 2 5 4 , 0 0 0 円（税込み）
変 更 理 由	1. 道路土工 現地精査の結果、現況地盤が計画路床面より高く残っていたため、掘削工を増工する。 2. 法面工 現地調査の結果、落石が多数見受けられることから、本線利用者の損害防止のため、植生基材マットを施工する必要が生じたため、植生工を増工する。 3. 舗装工 本線供用に伴い、本線起点部付近の交差点における区画線の引き直しを行う際、現地精査したところ舗装に多数のクラックが発生していたため、切削オーバーレイ工を増工する。 4. 排水構造物工 現地精査の結果、埋戻しが数量（減）となり、作業土工を減工する。 5. 中央分離帯工 数量精査の結果、中央分離帯が数量（増）となり、中央分離帯工を増工する。 6. 縁石工 本線供用に伴い、走行車両から歩行者への損害防止のため、歩車道境界ブロックの設置の必要が生じ、縁石工を増工する。 7. 防止柵工 地元要望により、目隠しフェンスを設置する必要が生じたため、防止柵工を増工する。 8. 区画線工 本線供用に伴い、本線起点部付近の交差点における区画線の引き直しを行う必要が生じたため、区画線工を増工する。 9. 道路付属施設工 本線供用に伴い、夜間による視認性向上、本線利用者の安全を考慮し視線誘導標を設置する必要が生じ、道路付属物工を増工する。 10. 応急処理工 本線切土部の法面の適切な維持管理として、除草、集草処分の必要が生じたため、応急処理作業工を増工する。 11. 構造物撤去工 関係機関協議の結果、起点部の街路樹を撤去する必要が生じたため、道路植栽撤去工を増工する。 12. 仮設工 工事車両出入口は交差点が近接しており、自転車・歩行者通行時に安全に誘導員を設置する必要があるため、交通管理工を増工する。 13. 共通仮設費 防護柵の出来形管理のための非破壊試験、施工調査費、諸経費動向調査、遠隔臨場、システム初期費（ICT）3次元起工測量・3次元設計データの作成費費用（ICT）BIM/CIM 適用工事に要する費用、ICT 活用工事効果等調査費用、図面作成費、道路工事完成図書作成費、全国道路施設点検データベース登録費の追加に伴い、技術管理費を増工する。